学校教育目標
・創造する生徒
・心豊かな生徒
・鍛える生徒

藤花だより

平成２８年度３月号
平成２９年３月１日
さいたま市立大宮西中学校
TEL 048(624)4339
http://omiyanishi-j.saitama-city.ed.jp

西中生の「花は咲く」

校長　佐藤　和男

「春」は、三人の日と書きます。ひとりより二人、二人より三人・・・。この漢字からは、季節の暖かさだけでなく、人のつながりや温かさを感じることができます。
３学期も残りわずかとなりました。１年生は２月３日に校外学習を実施し、鎌倉方面へのグループ行動でしたが、計画に基づき、楽しく、そして事故なく班活動ができました。
６組は２月１４日・１５日の１泊２日で越後中里でのスキー実習を行い、一人ひとりの技能に応じて一生懸命取り組みました。スキー実習を通して、個人の力と集団としての力を高めることができました。
３年生はいよいよ今週の３月２日(木)に県公立高校の学力検査に臨みます。翌３日(金)には、一部の高校ですが、面接・実技試験が実施されます。体調を万全に整え、最大限の力を発揮して大きな壁を乗り越えてほしいと思います。頑張れ、３年生！！
また、２月２５日(土)には、今年度最後の藤花教室(土曜チャレンジスクール)を実施しました。今回は特に学年末テストの前という事で、どの子どもたちも真剣に学習に取組んでいました。お陰様を持ちまして、大勢の地域や保護者の皆様のご協力により、子どもたちの年間延べ参加数は５１６名となりました。実行委員、安全管理員、学習アドバイザーとしてご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

そして春は、別れと出会いの季節です。今まで様々な行事や教育活動で、学校の中心となり、学校の顔として活躍してくれた３年生が、大宮西中学校での様々な思い出を胸に、９年間の義務教育を修了し、平成２９年３月１５日（水）に卒業します。とても寂しい事です。４月からは、それぞれの環境の中で、限りない可能性が待っている新しい生活がスタートします。大宮西中を巣立っていく全員が、元気で、生き生きと、自分の目標や夢に向かって歩んでくれることを願わずにはいられません。

さらに、この季節には、私たちが忘れてならないことがあります。今年中学校を卒業する３年生が、ちょうど小学校３年生の時に起きた６年前の東日本大震災です。あの時の怖かった体験、計画停電で苦労したことなどもだんだん記憶から薄れています。学校でも避難訓練などで震災の話しても、あまりピンとこない感じがします。しかし、いまだに多くの方が復興を待ち、苦しんでおられる現状を、決して風化させてはいけません。
今でも時々放送される被災地出身の著名人が歌った、ＮＨＫの復興支援ソング“花は咲く”。この歌の作詞とビデオの制作を担当したのは、仙台市出身の映画監督の岩井俊二さんです。震災後、変わり果てた故郷の姿を目の当たりし、激しい無力感に襲われたそうです。そのような中、偶然目にしたツィッターの言葉が岩井さんの心を動かしました。それは、ある女子高生の片思いの人を探して欲しいという内容でした。岩井さんは、このような悲惨な現実の最中に、「人を愛する」という一筋の希望を感じた瞬間であり、「がれきだらけになった場所にも、ちゃんと花が咲いている・・・」との思いから誕生したのが“花は咲く”だったそうです。
私たちはこの悲しい事実を風化させず、いつまでも記憶にとどめることが大切な事であると思います。

誰かの想いが見える　　誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える　　悲しみの向こう側に
花は　花は　花は咲く　　いつか生まれる君に
花は　花は　花は咲く　　いつか恋する君のため
（歌詞の一部より）

１年間、地域の皆様、保護者の皆様には西中の子どもたちを大変温かく見守っていただき、誠にありがとうございました。
来年度も、西中生一人ひとりが、大きな花を咲かせることが出来ますよう、そして「あい」のあふれる大宮西中学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

安全点検の結果、異常は認められませんでした。